

令和2年度 決算

銚子市の

わかりやすい

決算書



<http://www.city.choshi.chiba.jp/>

～ はじめに ～

本市では、難しいと思われがちな決算について、見やすさとわかりやすさを念頭において作成した「銚子市のわかりやすい決算書」を発行しています。この“わかりやすい決算書”を通じ、市の財政に対して、皆様のご理解が深まるきっかけになれば幸いです。

目次

令和2年度一般会計の主な事業	1
決算の基礎知識	5
決算のあらまし	6
各会計の決算状況	7
一般会計の歳入歳出決算	8
財政構造の弾力性と健全化判断比率	11
借金残高	13
貯金残高	14
普通会計決算の近隣市との比較	15



決算額は1円単位で報告するものですが、本書では見やすさを優先するため“万円”単位で表示しています。

また、合計値を合わせるため端数の四捨五入の切り上げ、切り下げを調整している箇所があります。



銚子市公認キャラクター ちょーぴー

まずは、令和2年度の一般会計※
の主な事業を紹介するっちょ！

※「一般会計」の意味は5ページを見てちょ

- 1 保健・医療・福祉の充実
- 2 教育・文化の振興
- 3 生活環境の整備
- 4 産業の振興
- 5 都市基盤の整備
- 6 新型コロナウイルス感染症対策





主な事業は、上の6つだっちょ！！


令和2年度一般会計の主な事業


(事業名)				
	所管	〇〇〇〇室	… 担当部署	
	事業費	〇〇〇万円	… 事業にかかったお金（決算額）	
	財源	補助	〇〇〇万円	… 国や県からの補助金、交付金、負担金など
		借金	〇〇〇万円	… 事業費に充てるため、市が国や銀行などから借りたお金
市		〇〇〇万円	… 市税や使用料、基金などの市の自主財源	
〇〇〇〇〇〇〇〇			… 事業の説明	

1 保健・医療・福祉の充実


児童発達支援センターわかば長寿命化			
	所管	児童発達支援センターわかば	
	事業費	1,652万円	
	財源	補助	
		借金	1,440万円
市		212万円	
令和2年度から令和3年度にかけて、老朽化した施設の長寿命化を図るため、間仕切壁の補強や設備の入替えを行いました。			


病院事業会計負担、補助及び出資 (指定管理者交付金)			
	所管	健康・地域医療推進室	
	事業費	4億2,000万円	
	財源	補助	1億5,000万円
		借金	
市		2億7,000万円	
コロナ禍において公立病院として一定の役割が求められる銚子市立病院の医療従事者に対する人件費補てん交付金を補助しました。			

介護施設整備等補助			
	所管	高齢者福祉課	
	事業費	8,566万円	
	財源	補助	8,566万円
		借金	
市			
小規模多機能ホーム・グループホームを整備する事業者に補助しました。			


特定不妊治療費助成			
	所管	保健事業室	
	事業費	81万円	
	財源	補助	
		借金	
市		81万円	
特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受ける夫婦に対して治療費の一部を助成しました。			

2 教育・文化の振興


銚子西中学校整備			
	所管	教育総務室	
	事業費	2億 713万円	
	財源	補助	6,404万円
		借金	1億2,830万円
市		1,479万円	
<p>第五・第六・第七中学校を統合し、第五中学校の位置に銚子西中学校を開校するため、校舎やスクールバスロータリーを整備しました。 (令和3年4月開校)</p>			


GIGAスクール構想加速化			
	所管	学校教育室	
	事業費	3億4,525万円	
	財源	補助	2億8,942万円
		借金	4,880万円
市		703万円	
<p>小学校・中学校の児童・生徒に1人1台、タブレット端末を配備するとともに、高速大容量の校内通信ネットワークを整備しました。</p>			

3 生活環境の整備


ごみ処理広域化施設整備			
	所管	生活環境課	
	事業費	49億9,910万円	
	財源	補助	
		借金	12億5,430万円
市		37億4,480万円	
<p>銚子市、旭市、匝瑳市の3市で構成する東総地区広域市町村圏事務組合が行う広域ごみ焼却施設と広域最終処分場の整備について、銚子市分の経費を負担しました。</p>			


衛生センター基幹的設備改良			
	所管	生活環境課	
	事業費	8億6,540万円	
	財源	補助	3億1,658万円
		借金	4億4,430万円
市		1億 452万円	
<p>建設から約25年経過し、老朽化した衛生センターの施設の長寿命化、処理能力の向上、CO2排出量の削減を図るため、設備の修繕と更新を行いました。</p>			

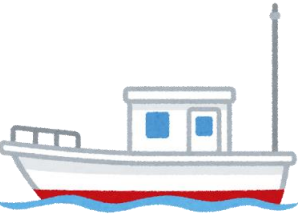
住宅用省エネルギー設備等導入促進補助			
	所管	生活環境課	
	事業費	143万円	
	財源	補助	143万円
		借金	
市			
<p>地球温暖化防止や家庭におけるエネルギーの安定確保・利用の効率化を図るため、住宅用省エネルギー設備（定置用リチウムイオン蓄電システム）を設置する市民に補助しました。</p>			

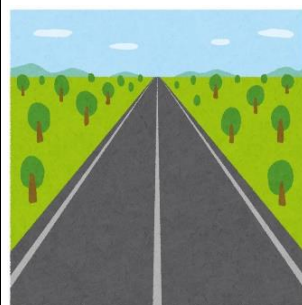
高規格救急車・高度救命処置用資機材整備			
	所管	消防総務課	
	事業費	3,451万円	
	財源	補助	473万円
		借金	2,970万円
市		8万円	
<p>救急体制に万全を期すため、老朽化した救急車を更新し、高規格救急車1台を整備しました。</p>			

4 産業の振興


地域おこし協力隊				
	所管	企画室 観光商工課		
	事業費	438万円		
	財源	補助		
		借金		
市		438万円		
<p>都市部から本市に生活の拠点を移した3名に地域おこし協力隊を委嘱しました。また、一定期間の地域活動により地域活性化を図るとともに、最終的に隊員の定住を目指します。</p>				

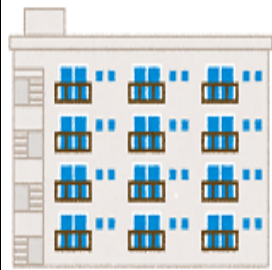
名洗港港湾整備				
	所管	観光商工課		
	事業費	165万円		
	財源	補助		
		借金	140万円	
市		25万円		
<p>名洗港を洋上風力発電の建設補助や維持管理を行うための港湾として整備する事業について、経費の一部を負担しました。</p>				

水産業施設災害復旧（船入場整備）				
	所管	水産課		
	事業費	1,826万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1,826万円		
<p>東日本大震災により被害を受けた野尻町船入場の撤去工事と、船舶の移設先である高田町野尻町船入場の浚渫工事を行いました。</p>				

広域営農団地農道整備				
	所管	農産課		
	事業費	1,005万円		
	財源	補助		
		借金	860万円	
市		145万円		
<p>生産地と消費地を直結した生産流通の合理化を図るため、基幹農道整備事業の経費を負担しました。</p>				

5 都市基盤の整備


橋りょう長寿命化対策				
	所管	土木室		
	事業費	4,943万円		
	財源	補助	2,475万円	
		借金	1,920万円	
		市	548万円	
<p>長期的なコストの平準化と安全性を確保するため、「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの定期点検と補修工事を行いました。</p>				

市営住宅改修（長寿命化計画関連事業）				
	所管	都市整備室		
	事業費	3,497万円		
	財源	補助	1,608万円	
		借金	1,870万円	
		市	19万円	
<p>老朽化した市営住宅の安全性の確保と耐久性・機能性の向上を図るため、長寿命化計画に基づきトイレの洋式化や外壁・屋根などの改修を行いました。</p>				

6


新型コロナウイルス感染症対策

特別定額給付金

	所管	社会福祉室	
	事業費	59億9,095万円	
	財源	補助	59億9,095万円
		借金	
市			


「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、市民1人につき10万円を支給し、家計の支援を行いました。

子育て世帯・ひとり親世帯臨時特別給付金

	所管	子育て支援課	
	事業費	1億1,383万円	
	財源	補助	1億1,383万円
		借金	
市			


新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている子育て世帯・ひとり親世帯の生活を支援するため、臨時特別給付金を支給しました。

医療機関等感染症対策支援

	所管	健康・地域医療推進室	
	事業費	2,336万円	
	財源	補助	2,336万円
		借金	
市			

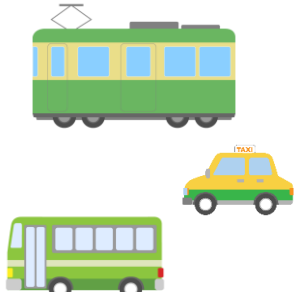
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続く中、市民への安定的な医療などの提供に取り組む事業者に対し、支援金を支給しました。

テイクアウト応援こども食事券

	所管	観光商工課	
	事業費	2,858万円	
	財源	補助	2,858万円
		借金	
市			

テイクアウトやデリバリーサービスを提供する飲食店などを支援するため、市内の中学生以下の全ての子どもに、1人につき5,000円分の食事券を配付しました。

地域公共交通運行継続支援

	所管	企画室	
	事業費	3,791万円	
	財源	補助	3,739万円
		借金	
市	52万円		

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による利用者の減少により厳しい経営状況が続く地域公共交通事業者（路線バス、タクシー、銚子電鉄）に対し、運行継続を支えるため支援金を支給しました。

プレミアム付商品券

	所管	観光商工課	
	事業費	1億3,735万円	
	財源	補助	1億3,735万円
		借金	
市			

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により落ち込んだ市内の消費を喚起するため、プレミアム付き商品券を販売しました。

決算の基礎知識



Q. そもそも「令和2年度決算」ってなあに？

A 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間の収入（歳入）と支出（歳出）の実績をまとめたものです。また、市の台所事情がわかるので、ある意味“家計簿”や“通信簿”とも言えます。

Q. 一般会計・特別会計・公営企業会計の違いは？



A 一般会計とは、市のメインのお財布のことです。行政の基本的な活動に必要な経費を計上しています。

一方、特別会計とは、特定の事業を行うためにやりくりするお財布で、一般会計とは分けて管理しています。

公営企業会計は、地方公営企業法が適用される公営企業の事業を行うためのお財布で、銚子市には水道事業、病院事業、下水道事業の3つがあります。



Q. 決算カードってなあに？

A 決算カードは、普通会計にもとづいた決算の状況を、市町村ごとに1枚のカードにまとめたものです。

また、普通会計は、総務省が決めた全国統一の共通ルールを適用した会計区分なので、決算カードを使って市町村同士の財政状況を比較したり、分析することができるようになっています。



決算のあらまし



一般会計の歳入は前年度に比べ110億7,001万円増（45.3%増）の355億1,174万円となりました。これは、東総地区広域市町村圏事務組合の広域ごみ処理施設の整備に伴い震災復興特別交付税が増加し、地方交付税が25億3,315万円増（41.4%増）したこと、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付により国庫補助金が大幅に増加し、国・県支出金が前年度に比べ73億9,660万円増（179.0%増）したことが主な要因です。

次に歳出ですが、前年度に比べ107億7,817万円増（45.0%増）の347億4,758万円となりました。これは、特別定額給付金給付事業や新型コロナウイルス感染症対策経費の増加に加え、広域ごみ処理施設の建設に係る東総地区広域市町村圏事務組合への負担金が前年度に比べ34億9,811万円増えたことが主な要因です。

令和2年度の歳入歳出差引額は7億6,416万円の黒字となり、これから翌年度への繰越財源6,587万円を差し引いた実質収支額は6億9,829万円となりました。

一般財源となる地方消費税交付金が増加したことや、下水道事業への繰出しを水道事業からの長期貸付けで対応したことでなんとか黒字を確保できました。

家計でいうところの貯金にあたる財政調整基金の決算年度末残高は3億7,937万円で、市民1人あたり6,418円になります。増加する甚大な災害への対応や新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対処など、緊急時にスピード感をもって対応するためにはより一層の確保が必要です。

今後も、事務事業の見直しや市債の借入抑制による歳出の削減とともに、未収金対策や市有地の売却などの歳入確保を強化していく必要があります。

最後に特別会計と企業会計についてですが、とりわけ国民健康保険事業特別会計は、歳入歳出差引額が6,364万円の歳入不足（赤字）となり、令和元年度決算に引き続き、不足額を翌年度の歳入で繰上充用しました。昨年度に比べ、歳入不足額は縮減していますが、引き続き、保険料徴収強化、未収金対策及び医療費適正化（特定健康診査受診率向上、ジェネリック医薬品使用促進など）を行っていく必要があります。

各会計の決算状況

区分	一般会計
歳入総額 ①	355億1,174万円
歳出総額 ②	347億4,758万円
歳入歳出差引額 ①－② ③	7億6,416万円
翌年度への繰越財源 ※ ④	6,587万円
実質収支額 ※ ③－④	6億9,829万円



区分	国民健康保険事業 特別会計	介護保険事業 特別会計	後期高齢者医療事業 特別会計
歳入総額 ①	74億9,731万円	63億4,065万円	8億5,954万円
歳出総額 ②	75億6,095万円	62億4,112万円	8億5,877万円
歳入歳出差引額 ①－② ③	△6,364万円	9,953万円	77万円
翌年度への繰越財源 ④	—	—	—
実質収支額 ③－④	△6,364万円	9,953万円	77万円

- ※ 「翌年度への繰越財源」とは、年度内に事業を終わらせることができず、翌年度（令和3年度）へ繰り越すこととなった事業に充てる財源のことで、事業と一緒にその財源も翌年度へ繰り越します。
- ※ 「実質収支額」とは、その年度の歳入から、歳出と翌年度への繰越財源を差し引いたものです。この値がマイナスとなる状態を、一般的に『赤字』といいます。

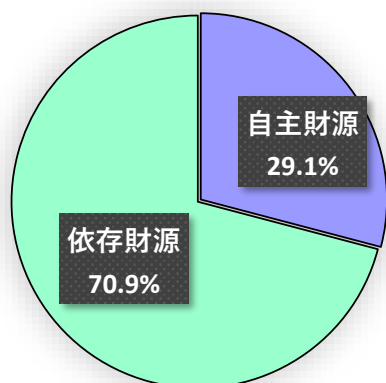
❗ 令和2年度は、国民健康保険事業特別会計が、6,364万円の赤字になりました。

一般会計の歳入歳出決算

歳入

項目	説明	決算額	
		令和2年度	令和元年度
自主財源	市が自主的に集めることができる収入です。	103億2,923万円	105億2,887万円
市税	皆さんが銚子市に納めた税金です。	79億7,072万円	81億4,199万円
分担金及び負担金	事業に必要な経費の一部を受けるサービスの程度に応じて、利用者が負担するお金です。	1億 251万円	1億6,653万円
使用料及び手数料	施設を利用する時や住民票などを発行する時にかかるお金です。	6億2,174万円	6億5,013万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	1億 704万円	2億8,285万円
その他	寄附金、土地や建物の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。	15億2,722万円	12億8,737万円
依存財源	国や県から交付される財源や市債（借金）のことです。	251億8,251万円	139億1,286万円
地方交付税	国に納められた税金の一部で、市の財政状況に応じて配分されるお金です。	86億4,951万円	61億1,636万円
国・県支出金	国や県に納められた税金の一部で、特定の事業を行うために市に配分されるお金です。	115億2,798万円	41億3,138万円
市債	学校や道路などの施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金です。	31億2,778万円	20億 718万円
その他	地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金などです。	18億7,724万円	16億5,794万円
計		355億1,174万円	244億4,173万円

令和2年度



自主財源が多いほど、自由に使えるお金が増えるので、自主的な事業ができるっちょ！！

経費を行政の目的ごとに
分類したっちょ！



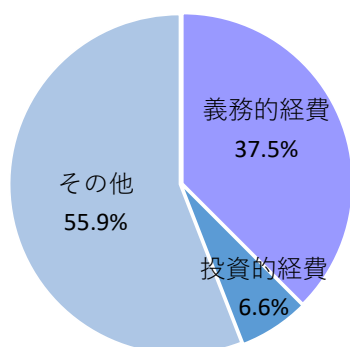
歳出決算状況（目的別）

項目	説明	決算額	
		令和2年度	令和元年度
議会費	議会運営のための経費です。	1億8,446万円	1億8,886万円
総務費	財産管理、統計、税の課税や徴収などの事務にかかる経費です。	30億7,034万円	28億1,052万円
民生費	障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などの経費です。	141億5,199万円	79億2,366万円
衛生費	環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。	78億7,530万円	39億 794万円
労働費	勤労者のための各種施設管理などにかかる経費です。	1,022万円	1,108万円
農林水産業費	農林水産業の振興、漁港整備などにかかる経費です。	3億9,901万円	4億5,690万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	6億1,983万円	4億1,904万円
土木費	道路や河川、公園などの社会資本整備のための経費です。	11億5,484万円	14億1,969万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	11億8,119万円	9億7,700万円
教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費です。	30億3,260万円	27億6,038万円
災害復旧費	大雨、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費です。	2,222万円	7,288万円
公債費	市債の元金、利子や一時借入金の利子のことです。	30億4,558万円	30億2,146万円
計		347億4,758万円	239億6,941万円

歳出決算状況（性質別）

項目	説明	決算額	
		令和2年度	令和元年度
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	130億2,654万円	129億 660万円
人件費	職員の給与や議員報酬などです。	55億6,714万円	55億2,956万円
扶助費	生活保護、障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金です。	44億1,382万円	43億5,558万円
公債費	市債（市の借金）の元金・利息の返済などに要する経費です。	30億4,558万円	30億2,146万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など施設の整備に要する経費です。	22億9,554万円	17億3,540万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	10億3,564万円	9億2,218万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	12億3,707万円	7億3,862万円
災害復旧事業費	地震、風水害などにより被災した施設の復旧経費です。	2,283万円	7,460万円
その他の経費		194億2,550万円	93億2,741万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	34億1,547万円	28億5,144万円
維持補修費	施設の維持補修に要する経費です。	1億1,799万円	1億 111万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	128億2,076万円	25億7,135万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	2億8,033万円	1億4,686万円
投資及び出資金	病院事業会計などに対する出資金です。	9,936万円	2,703万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費です。	2億1,347万円	2億9,476万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	24億7,812万円	33億3,486万円
計		347億4,758万円	239億6,941万円

令和2年度決算



必ず支出しなければならない
“義務的経費”が約4割を
占めているっちょ！！





財政構造の弾力性と健全化判断比率



財政構造の弾力性を表す経常収支比率は**92.7%**です。

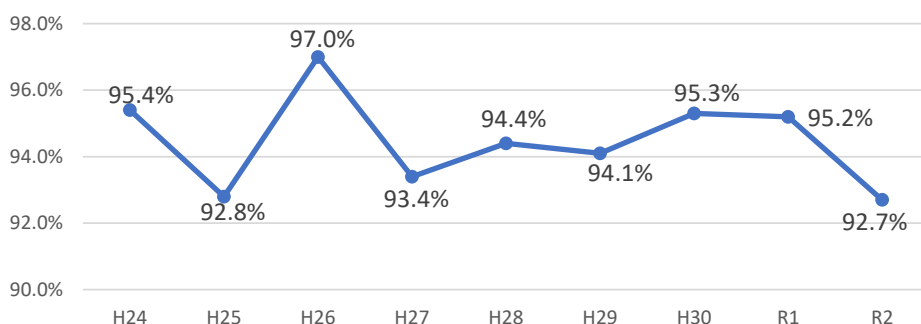


経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費などのように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源※が、一般財源総額のうち地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源に対し、どの程度の割合となっているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断するもので、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。

※その用途が特定されていない財源（地方税、地方交付税など）のこと。使い道が決まっている財源（国庫支出金、地方債など）は特定財源という。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源等（地方税＋普通交付税等）＋減収補てん債特例分＋臨時財政対策債}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和2年度は、前年度の95.2%から92.7%と大きく改善しました。

主な要因として、歳入では、経常的収入である地方消費税交付金が消費税率の増に伴い大きく増加したこと、また、歳出では、下水道事業会計が令和2年度から公営企業会計になったことで、下水道事業会計への支出の一部が分類上、経常的支出から臨時的経費に変わったことなどが挙げられます。（経常的収入が増えたり、経常的支出が減ったりすると、経常収支比率は改善していきます。）



Q. "健全化判断比率"ってなあに？

平成19年に交付された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』により、自治体は毎年、財政の健全度を客観的に示すための健全化判断比率を公表しなければなりません。

詳細は次のページに記載されていますが、健全化判断比率には4つの指標が用いられており、一定の基準を超えたときには財政運営の健全化を図るための計画策定が必要となります。

健全化判断比率および資金不足比率



市の財政の健全度を判断する4つの指標だっちょ！

実質赤字比率

一般会計などの赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、財政運営の深刻度を示します。

連結実質赤字比率

全会計の赤字が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、自治体全体の財政運営の深刻度を示します。

実質公債費比率

一般会計などが負担する借金の返済額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合となっているかを表す指標で、資金繰りの危険度を示します。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき負債の額が、通常見込まれる収入に対してどの程度の割合かを表す指標で、将来の財政負担の大きさを示します。

健全化判断比率の状況	令和2年度決算	令和元年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	12.80%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	17.80%	30.00%
実質公債費比率	12.2%	13.2%	25.00%	35.00%
将来負担比率	115.3%	137.0%	350.00%	基準なし

※早期健全化基準と財政再生基準は、令和2年度の数値です。



銚子市の健全化判断比率は、左のとおりだっちょ

健全化判断比率の近隣市比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
実質赤字比率	令和2年度	—	—	—	—
	令和元年度	—	—	—	—
連結実質赤字比率	令和2年度	—	—	—	—
	令和元年度	—	—	—	—
実質公債費比率	令和2年度	12.2%	8.1%	5.8%	8.4%
	令和元年度	13.2%	7.9%	5.7%	8.1%
将来負担比率	令和2年度	115.3%	—	24.4%	37.5%
	令和元年度	137.0%	—	21.2%	52.2%

※令和2年度の指標数値は、決算カードの速報値となります。

近隣市と比較してみると、銚子市は健全化判断比率が非常に高いということがわかります。その要因としては、特に市の貯金 (= 基金) が少ないことが影響していると考えられます。

指標数値がさらに悪化すると…



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『早期健全化基準』を超えると、イエローカード状態 (= 財政健全化団体) となります。

財政健全化団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならず、**市主導で事業を行うことが難しく**なります。



健全化判断比率の4つの指標のうち1つでも『財政再生基準』を超えると、レッドカード状態 (= 財政再生団体) となります。

財政再生団体になると、議会の議決が必要な財政計画を定め、公表しなければならないのはもちろんのこと、**国 (総務省) の関与のもとで財政運営を行うこととなり、市の主導で事業を行うことがほぼできなくなり**ます。

資金不足比率

各公営企業会計において、資金不足額がその事業規模に対してどの程度の割合となっているかを表す指標です。

資金不足比率の状況	令和2年度決算	令和元年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.00%
病院事業会計	—	—	20.00%
下水道事業特別会計	—	—	20.00%

※経営健全化基準は、令和2年度の数値です。

借金残高

一般会計借金残高（市債現在高）

項目	令和2年度末	令和元年度末	項目	令和2年度末	令和元年度末
普通債	151億6,976万円	146億 554万円	その他	120億6,285万円	123億7,212万円
総務	20億1,358万円	24億3,511万円	減税補てん債	1億2,718万円	1億7,703万円
民生	1億1,148万円	1億1,090万円	臨時税収補てん債	0万円	0万円
衛生	32億4,846万円	17億1,537万円	臨時財政対策債	117億1,710万円	119億3,229万円
農林水産	10億5,805万円	11億6,180万円	減収補てん債	5,796万円	7,007万円
商工	4,309万円	2,830万円	退職手当債	1億6,061万円	1億9,273万円
土木	22億4,913万円	24億9,930万円	計	272億3,509万円	269億8,241万円
住宅	1億7,202万円	1億7,006万円	市民1人当たり	460,760円	447,269円
消防	19億1,341万円	17億9,038万円			
教育	43億6,054万円	46億9,432万円			
災害復旧債	248万円	475万円			
農林水産	0万円	0万円			
土木	248万円	475万円			
教育	0万円	0万円			
その他	0万円	0万円			

借金の残高は、前年度と比較して2.5億円程度増えてしまいました。これは、広域ごみ処理施設の建設にかかる借金（衛生債約15億円増）の影響によるところが大きいです。全体を見れば借金は減少傾向にあるといえます。引き続き、計画的に借金の返済を進め、必要な事業をしっかりと見極め、新たな借金の抑制に努めていきます。

※市民1人当たりの金額は、令和3年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

令和2年度末 普通会計借金残高（『令和2年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
借金年度末残高	令和2年度末	272億3,509万円	347億 540万円	160億1,019万円	412億6,500万円
	市民1人当たり	460,760円	536,496円	450,458円	555,159円

学校や道路などの大きな施設の整備には一時的に何千万円、何億円といった多額のお金が必要になります。そのお金を1年間の予算でまかなってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。

また、学校や道路などの大きな施設は現在の市民だけでなく、将来30年から40年もの長い間、たくさんの方が利用する施設ですので、将来の市民の方にも平等に負担していただくことも、市債を活用する理由の一つです。

世代間の負担の公平を図るうえで市債発行の意義はもちろんありますが、前ページのとおり、近隣市と比較すると、健全化判断比率が非常に高い状況にあります。ただ市債を漫然と発行するのではなく、市債を発行する事業の選択と交付税措置のない市債の発行抑制に努めていきます。

貯金残高

貯金残高（基金現在高）

基金名	令和2年度末	令和元年度末
財政調整基金	3億7,937万円	2億1,936万円
減債基金	96万円	96万円
災害対策基金	1億 841万円	1億1,299万円
一般廃棄物処理施設整備基金	1,645万円	1,924万円
豊里住宅団地公共施設整備等基金	3億7,035万円	3億7,665万円
ふれあい福祉基金	2,368万円	2,664万円
地域再生基金	2,673万円	2,400万円
がんばれ銚子ふるさと応援基金	1億1,198万円	5,371万円
民力復興基金（令和2年度末廃止）		600万円
公共施設整備等基金	1億 101万円	101万円
一般廃棄物最終処分場設置地域復興基金	49万円	64万円
銚子電気鉄道応援基金	5,037万円	4,316万円
漁業振興基金	1,000万円	1,000万円
森林環境基金	879万円	135万円
しごと・ひと・まち創生推進基金（令和2年度新設）	2,041万円	
国民健康保険事業財政調整基金	0万円	0万円
介護保険事業財政調整基金	4億6,238万円	4億3,737万円
計	16億9,138万円	13億3,308万円
市民1人当たりの財政調整基金現在高	6,418円	3,636円

令和2年度末 財政調整基金残高（『令和2年度決算カード（速報値）』より）

近隣市との比較		銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
財政調整基金の 現在高	令和2年度末	3億7,937万円	96億2,421万円	23億1,382万円	61億6,722万円
	市民1人当たり	6,418円	148,777円	65,101円	82,971円

※市民1人当たりの金額は、令和3年1月1日現在の各市の人口から算出しています。

基金とは市の貯金にあたるもので、予算不足に充てるための「財政調整基金」と使い道が決まっている「特定目的基金」に分けられます。上記の表は、その残高を表しています。

銚子市の財政調整基金は、近隣の市と比較するといかに少ないかわかると思います。今後は、財政調整基金の現在高を適正な額※に維持していかなければなりません。

※銚子市の財政規模であれば、15億円程度の現在高があると望ましい。

普通会計決算の近隣市との比較

市民1人当たりの歳入決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
自主財源	174,533円	225,991円	166,999円	189,605円
市税	134,848円	120,109円	109,968円	121,092円
分担金及び負担金	1,228円	1,149円	1,354円	1,365円
使用料及び手数料	11,025円	7,419円	2,398円	3,104円
繰入金	1,811円	33,331円	23,400円	25,589円
その他	25,621円	63,983円	29,879円	38,455円
依存財源	426,251円	524,995円	488,396円	399,286円
地方交付税	146,331円	192,717円	193,602円	116,388円
国・県支出金	195,245円	212,293円	219,492円	222,381円
市債	52,916円	88,379円	42,740円	27,216円
その他	31,759円	31,606円	32,562円	33,301円
計	600,784円	750,986円	655,395円	588,891円

市民1人当たりの目的別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
議会費	3,119円	2,944円	4,976円	2,980円
総務費	150,029円	222,211円	151,184円	153,714円
民生費	138,105円	140,091円	154,185円	149,416円
衛生費	134,029円	146,183円	129,531円	36,753円
労働費	173円	15円	0円	130円
農林水産業費	6,748円	30,399円	26,043円	33,953円
商工費	10,486円	9,302円	11,252円	17,602円
土木費	20,459円	37,345円	20,258円	31,005円
消防費	20,071円	16,917円	20,968円	23,631円
教育費	52,726円	45,095円	55,371円	46,424円
災害復旧費	386円	280円	1,168円	1,495円
公債費	51,525円	53,765円	47,760円	50,161円
計	587,856円	704,547円	622,696円	547,264円



市民1人当たりの性質別歳出決算額

項目	銚子市	旭市	匝瑳市	香取市
義務的経費	220,381円	221,985円	218,783円	202,786円
人件費	94,184円	88,593円	80,915円	71,908円
扶助費	74,672円	79,627円	90,109円	80,717円
公債費	51,525円	53,765円	47,759円	50,161円
投資的経費	38,836円	108,385円	45,017円	37,357円
普通建設事業費（補助）	17,521円	34,315円	21,879円	19,759円
普通建設事業費（単独）	19,773円	72,739円	18,076円	14,390円
県営事業負担金	1,156円	1,051円	3,894円	1,713円
災害復旧事業費	386円	280円	1,168円	1,495円
その他の経費	328,639円	374,177円	358,896円	307,121円
物件費	57,783円	59,904円	53,414円	53,021円
維持補修費	1,996円	1,758円	6,249円	2,714円
補助費等	216,900円	261,237円	250,343円	200,681円
積立金	4,743円	10,248円	1,816円	6,551円
投資・出資金、貸付金	5,292円	7,001円	5,941円	4,425円
繰出金	41,925円	34,029円	41,133円	39,729円
計	587,856円	704,547円	622,696円	547,264円

本市は、他市と比較すると、人件費が多く、補助費等が少ないことが大きな特徴となっています。これは、市立高校を有し教育関係の職員数が多いことや、ごみ処理業務、消防業務などを直営で行っているため一部事務組合に対する負担金が少ないことが要因といえます。なお、ごみ処理業務は、東総地区広域市町村圏事務組合が主体となり、令和3年度から広域ごみ処理施設（銚子市・旭市・匝瑳市）が稼働を始めたところです。

もうひとつの特徴として、公債費は、他市と比較して特に多いということではありませんが、前述のとおり、実質公債費比率は極端に高くなっています。これは、公債費の支出に対し、国からの支援（地方交付税）のない借金の償還が多いため、千葉科学大学建設費助成事業や市立銚子高校整備などが該当します。大規模事業の中には、償還が終了したものもありますが、令和7年頃までは、比較的高い水準で推移していく見込みです。



令和2年度決算
銚子市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和3年10月
- 発行・編集 銚子市・企画財政課財政室
〒288-8601
銚子市若宮町1番地の1
電話 0479-24-8926
- 銚子市ホームページ

<http://www.city.choshi.chiba.jp/>
